

患者さんまたはご家族の方へ
臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、献血にご協力いただいた方より提供された検体と情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第 1 号、令和 5 年 3 月 27 日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] ヒト化マウスによる異種移植での拒絶反応機序解明の検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 南須原 康行

[研究責任者所属・氏名] 北海道大学病院消化器外科 I 後藤 了一

既存試料・情報の提供のみを行う機関	責任者	機関の長の氏名
日本赤十字社 血液事業本部 技術部	佐藤えりか	清家 篤

[研究の目的]

異種移植*における拒絶反応の機序解析と拒絶反応制御に有効な治療法を検討するため、白血球フィルターからヒトリンパ球を採取し、動物で検証することを目的としています。

*人に遺伝子改変したブタの臓器を移植すること

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2013 年 1 月 1 日から実施許可日までの間に日本赤十字社が実施する血液事業にて献血を行い、研究目的で試料を保管し利用することに同意された方

○利用する検体

検体：血液製剤を製造する際に使用した、白血球除去工程後のフィルター*

*輸血の際に副反応の原因となる白血球を、あらかじめ輸血用製剤の製造工程で除去するためのフィルターとなります。

情報：感染の有無

○送付方法

上記の検体は、フィルターからリンパ球を回収しヒト化マウスを作成するために、日本赤十字社より北海道大学消化器外科Ⅰの医局へ冷凍状態で提供されます。情報は、日本赤十字社より、郵送で送付します。

[研究実施期間]

実施許可日(検体・情報の利用開始：2026年6月頃)～2030年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は2026年5月31日までに以下にご連絡ください。

[北海道大学病院（研究代表機関）の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院消化器外科Ⅰ 担当医師 後藤 了一

電話 011-706-5927 FAX 011-717-7515

[既存試料・情報の提供のみを行う機関の連絡先・相談窓口]

日本赤十字社 血液事業本部 技術部 製造管理課

〒105-0011 東京都港区芝公園1-2-1

TEL：03-3437-7204（直通）

Eメール：nissekikoubo@jrc.or.jp

担当：献血血液公募担当